

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

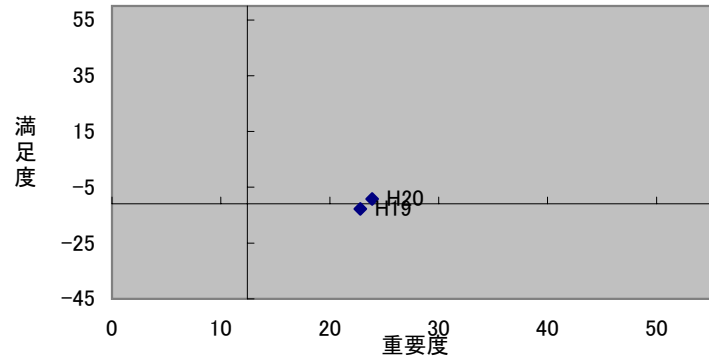
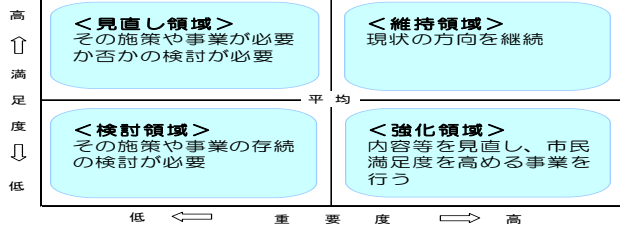
施策名 (小項目)	母子保健(歯科保健含む)	コード	作成者	役職	保健課長
		02-02-01	氏名	岩崎 透	
			電話	64-1819	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が安心して子どもを産み育てるようにする	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	少子化傾向が強まる中、致命率の高い感染症の予防や病気の治療が高度化し多くの病気を治せるようになってきた。しかし、家庭や地域の子育て機能の低下、児童虐待の増加、肥満に関連した生活習慣病の出現など、新たな問題が発生してきている。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 一貫した母子保健の推進(母子手帳交付、育児相談事業、健康診査、パパママスクールなど) 感染症予防 生活習慣病予防(栄養委員会による食育事業) 	

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	22.8	23.9	
満足度(%)	-12.7	-9.2	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	安心して子育てができる環境を多くの市民が望んでいる。住みよいまちとは家庭や地域に教育力があるところと、多くの市民が認識している。「安心して子どもを産み育てることができる」と感じる市民の割合はH18年13.4%、H19年18.0%、H20年12.1%と低い数値となっている。子育て支援策はこども課にも多くの施策を実施しており、市民の認識を高める努力が必要である。
---------------------	--

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度			目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28			
1 乳幼児健診受診率	目標	%	90.0	90.0	90.0	90.0	95.0	95.0	82.8	岡山県の受診率(H18) (備前市は1歳食身体験含む)
	実績	%	82.7	82.0	81.7					
	達成率	%	91.9	91.1	90.8					
2 3歳児健診時麻しん接種率	目標	%	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	92.9	岡山県の3歳児麻しん接種率(H18)
	実績	%	93.6	94.4	97.1					
	達成率	%	98.5	99.4	102.2					
3 3歳児肥満率	目標	%	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	6.1	岡山県の3歳児肥満率(H18)
	実績	%	5.6	3.4	7.1					
	達成率	%	280.0	170.0	355.0					
4 3歳児朝食欠食率	目標	%	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	実績	%	13.2	13.3	10.5					
	達成率	%	132.0	133.0	105.0					

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算 直接事業費		
				H17			H18			H19					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1 乳幼児等健康診査事業	B	健康被害予防事業	国県補助事業	1,084			1,081			1,001	2,569	0.45	☆☆	\$\$\$	1,238
		1歳6ヵ月児健康診査事業	法定事務	742			566			712	2,122	0.40	☆☆☆	\$\$\$	721
		2歳児歯科健康診査事業	法定事務	672	11,292	1.87	648	9,075	1.65	452	1,844	0.35	☆☆	\$\$\$	395
		3歳児健康診査事業	法定事務	1,626			1,501			1,019	2,398	0.44	☆☆☆	\$\$\$	1,082
		妊婦乳児健康診査事業	法定事務	5,480			5,532			7,722	1,164	0.16	☆☆☆	\$\$\$	13,845
2 母子相談事業	B	育児総合相談窓口設置事業	その他単市	232			85			112	4,639	0.97	☆☆	\$\$	
		母親・両親学級事業	その他単市	59	6,351	1.06	16	6,060	1.05	4	574	0.10	☆	\$	
		幼児クラブ事業	その他単市	121			5			5	894	0.15	☆	\$	
3 マザースクール事業	B	マザースクール事業	国県補助事業	2,344	3,917	0.62	4,605	2,415	0.40	4,557	2,362	0.39	☆☆☆	\$\$\$	2,658
4 予防接種事業	B	予防接種一類	法定事務	36,723	4,716	0.76	33,609	3,580	0.55	19,009	1,457	0.22	☆☆	\$\$\$	45,821
		予防接種二類	法定事務							17,852	891	0.14			
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
				49,083	26,276	4.31	47,648	21,130	3.65	52,445	20,914	3.77	65,760		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
保育園	乳幼児健康診査事業・予防接種事業	要観察児のフォロー
幼稚園	乳幼児健康診査事業・予防接種事業	//
中央公民館	ブックスタート事業	4ヵ月児健診時に読み聞かせ

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	4	乳幼児の発育状況をチェックし、心身の異常を早期に発見し適切な指導を行うための乳児健診は高受診率で成果を上げている。	3	乳幼児健診受診率が下がっている。さらに努力が必要である。
2 事業構成の適当性	4	妊娠期から就学前までの各期に応じた事業構成となっている。	4	母子保健の主要な事業であり妥当である。
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	4	乳幼児期の健康サポート体制は、利用しやすさを基準に企画している。	4	子育てへの悩みや不安が解消されており有効な施策である。
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	安心して子育てができる環境は多くの市民が望んでいる施策である。この施策を充実させ、家庭や地域の教育力増進を図り、住みよいまちの実現を図る。妊婦の無料受診回数の増加を検討する。			
二次評価者コメント 役職 民生部長 氏名 鶴川 晃匠	平成19年度から、乳児のいる家庭の孤立化を防ぐため生後4ヶ月までの全戸訪問を実施しており、子育て支援として成果を上げている。今後とも、母子の育児不安を打ち明けられることができる等、お互いの信頼関係を構築し妊娠期から就学期までの一貫した支援をしていく必要がある。			基本施策への貢献度 4やや高い